

● 各種訓練の紹介②

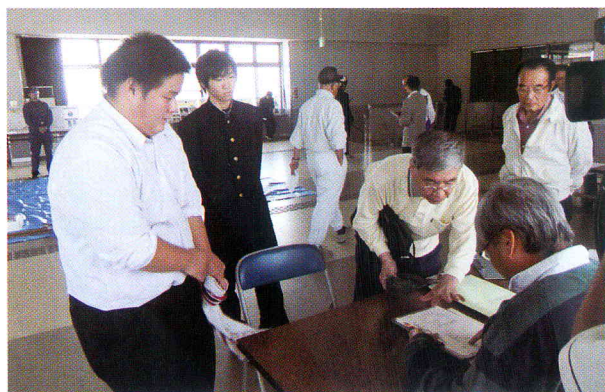
要援護者対応訓練 —小松島市福祉事務所・介護福祉課、小松島高校、民生委員等—

地元の民生委員5名、小松島市職員4名、小松島高校生11名が、6班に分かれて各班2～3箇所の要援護者宅を訪問しました。

地震発生時に安否確認に当たる事になっている民生委員と共に、安否確認と防災訓練の説明、非常食の配給を行い、災害時に予定している避難場所や、経路の聞き取りを行いました。今年9月に新たに設置された、小松島高校の防災クラブ員は、要援護者宅で直接会話をして現状を知り、防災に対しての今後の課題等を考える機会になりました。

小松島高校生コメント

- ・民生委員さんと共に回ったお宅で、要援護者の方や家族の方々と直接会話して、安否確認や防災訓練の説明などを行い、多くの事を学びました。
- ・小松島市は海が近いので、津波には常に気をつけなければならないと感じました。
- ・他にも避難できる場所をたくさん確保しておく方がよいと思いました。
- ・地震発生時にうまく対応できるかどうか不安だったので、今回訓練に参加できて良かったです。



安否確認を終えた防災クラブ員からの報告

応急手当講習会 —小松島市消防本部—

今回の訓練参加者を対象に、消防隊員による応急手当講習会を実施しました。

棒と毛布を使った応急担架の作成方法や、毛布を使った一人で救護者を搬送できる方法、包帯等を用いた止血、骨折の対応方法を学びました。

応急手当は、地震等の被災時以外にも、事故など様々な場面で突発的に必要となる初動対応です。間違った救護方法ですとケガや症状が悪化する場合があります。参加者は熱心に、いざというときに役立てられるよう、正しい救護方法を学んでいました。

小松島高校生コメント

- ・身近な物品や簡単な方法で応急手当ができるので練習しておこうと思いました。
- ・止血や骨折したときの対応について、とても勉強になりました。
- ・自分にもできることがあると言う事がわかって、その方法を今後も忘れないように覚えておこうと思います。



応急担架の作成方法



頭部の止血方法